

Jトラスト株式会社

会社説明会

大阪証券取引所 市場第二部(8508)



Jトラスト株式会社
本社ビル(東京都港区)

日時:平成23年7月21日
主催:日本証券アナリスト協会

- ・ 当社の紹介
- ・ 今後の成長に向けた取り組み
- ・ 今期の業績予想
- ・ 株主様への還元

当社の紹介

経営環境と基本姿勢

改正貸金業法による
資金供給機能の縮小

過払利息返還請求の
高止まり

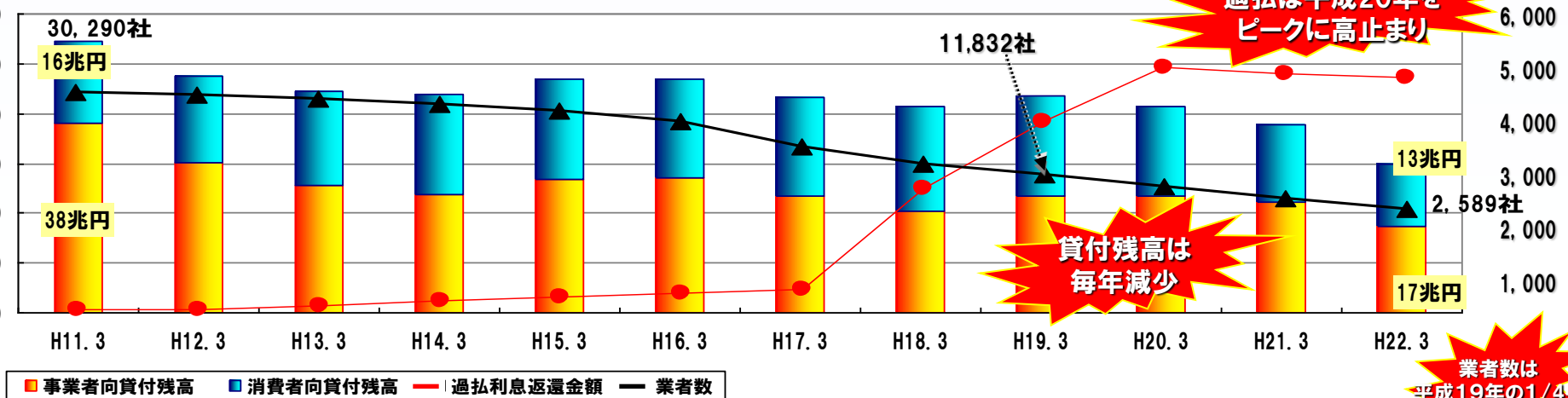
資金調達環境の悪化

基本姿勢

グループ経営基盤の強化と新たな成長への取り組み

単位：兆円

業態別融資残高推移



※資料：
金融庁統計
日本貸金業協会

企業理念

お客様のため、株主様のため、私たち自身のため、いかなる時も迅速に、
誠実にチャレンジし続け、皆様と共に日本の未来を創造いたします

経営方針

事業基盤の
強化

既存事業の
再構築

新たな成長への
取組み



安定した経営により
持続的な成長を目指す



代表取締役社長
藤澤 信義



代表取締役副社長
千葉 信育

行動理念

私たちは企業理念を実践するために「J・T・R・U・S・T」を
念頭に行動いたします。

Justice
ジャスティス
公正・公平

Teamwork
チームワーク
協力・団結

Revolution
レボリューション
革新志向

Unique
ユニーク
独自性・独創性

Safety
セーフティ
安心・安全性

Thankful
サンクフル
感謝

J = 公正な企業経営を行います

T = 経営の根幹である「人」の個性を活かした組織を作ります

R = 常に革新志向で価値創造を行います

U = 当社の独自性を大切にします

S = お客様、ステークホルダーの皆様に安心いただけるよう努めます

T = 感謝の気持ちを忘れません

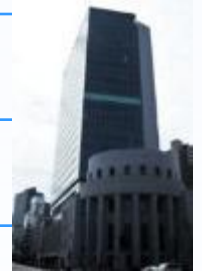
当社沿革

昭和52年 3月 株式会社一光商事を設立 貸金業務を開始



平成 3年 3月 「株式会社イッコー」に商号変更

平成10年 9月 大阪証券取引所市場第二部に上場



平成17年 1月 全国保証株式会社が当社株式を取得し親会社となる

平成18年10月 「プライバシーマーク」の認証を取得



平成20年 3月 当社代表取締役社長藤澤信義がTOBにて当社株式を
取得、筆頭株主となる。

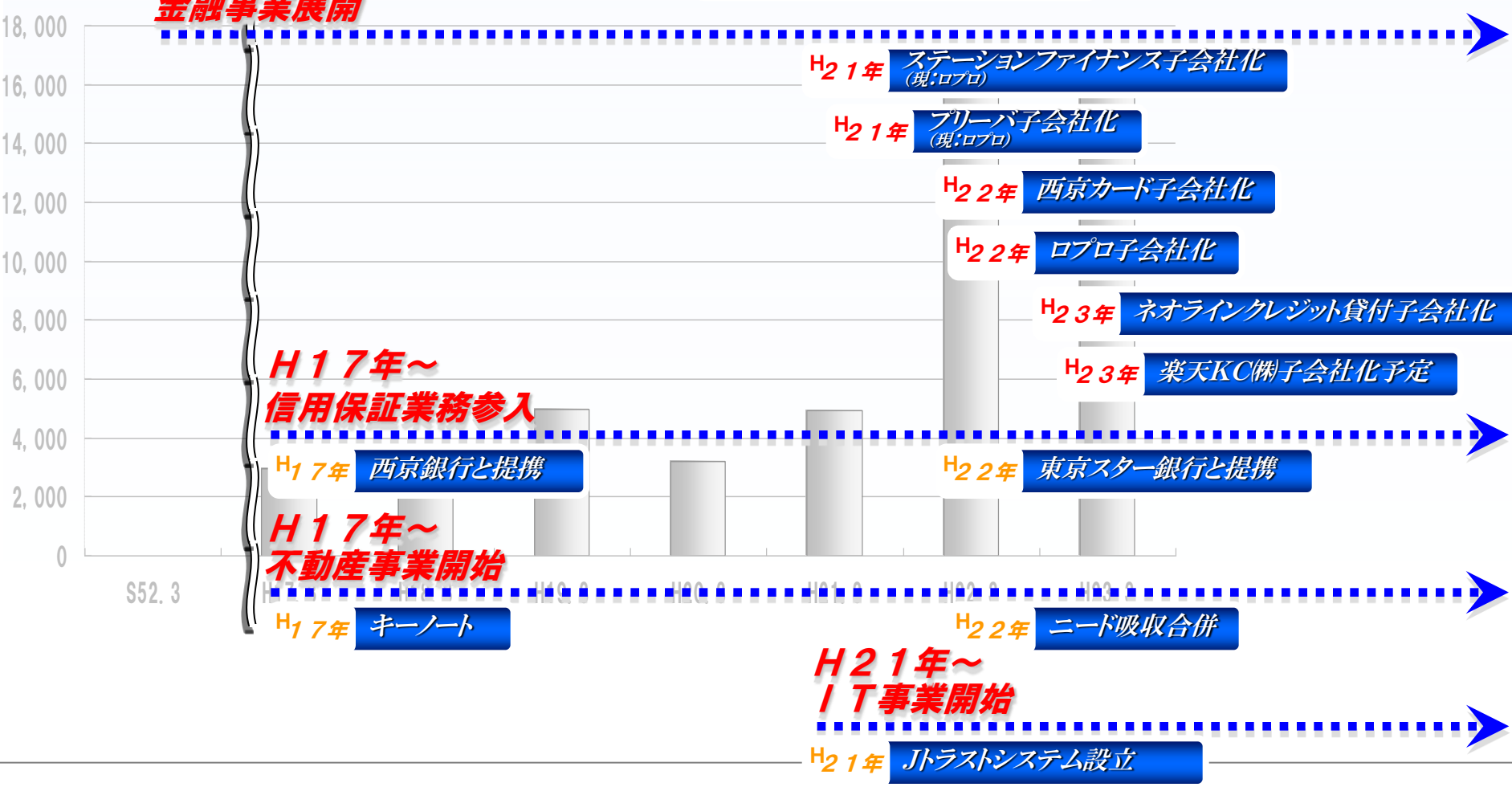
平成22年10月 当社はグループ全体の経営に係るホールディング業務に特化

平成23年 1月 Jトラスト(株)の本社機能を東京都港区に移転

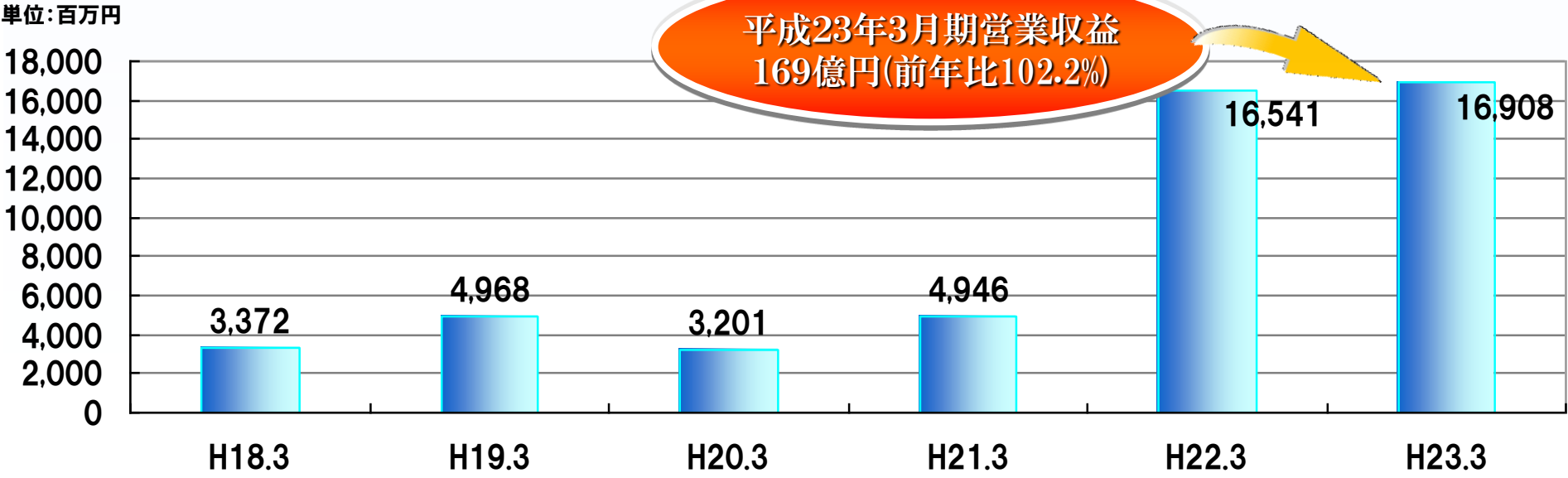


事業の軌跡 (平成20年以降)

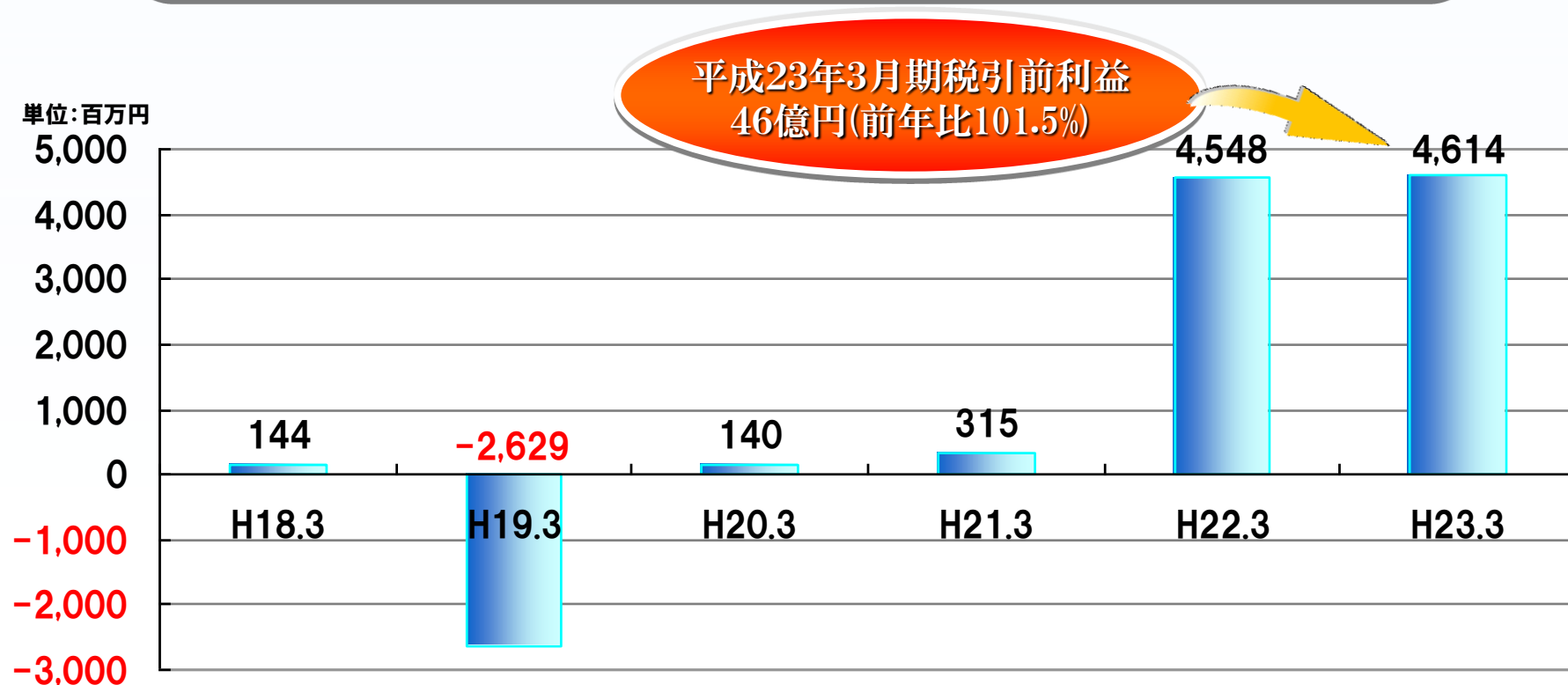
営業収益推移
 (単位: 百万円)



M&Aや業務提携等
迅速な戦略を展開



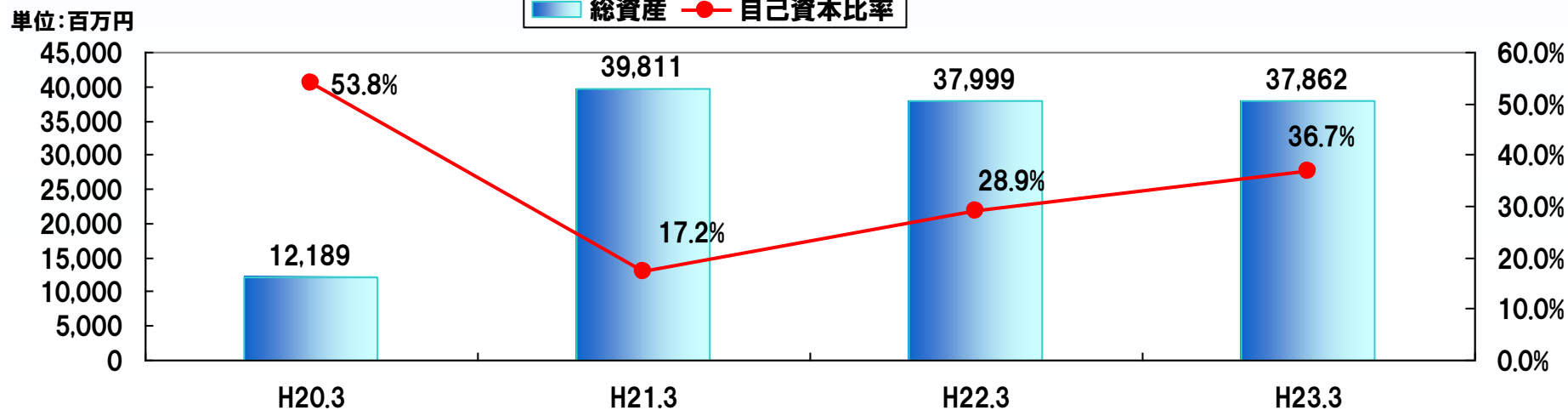
強固な財務基盤をベースに 4期連続黒字を継続



高い自己資本比率と豊富な現預金

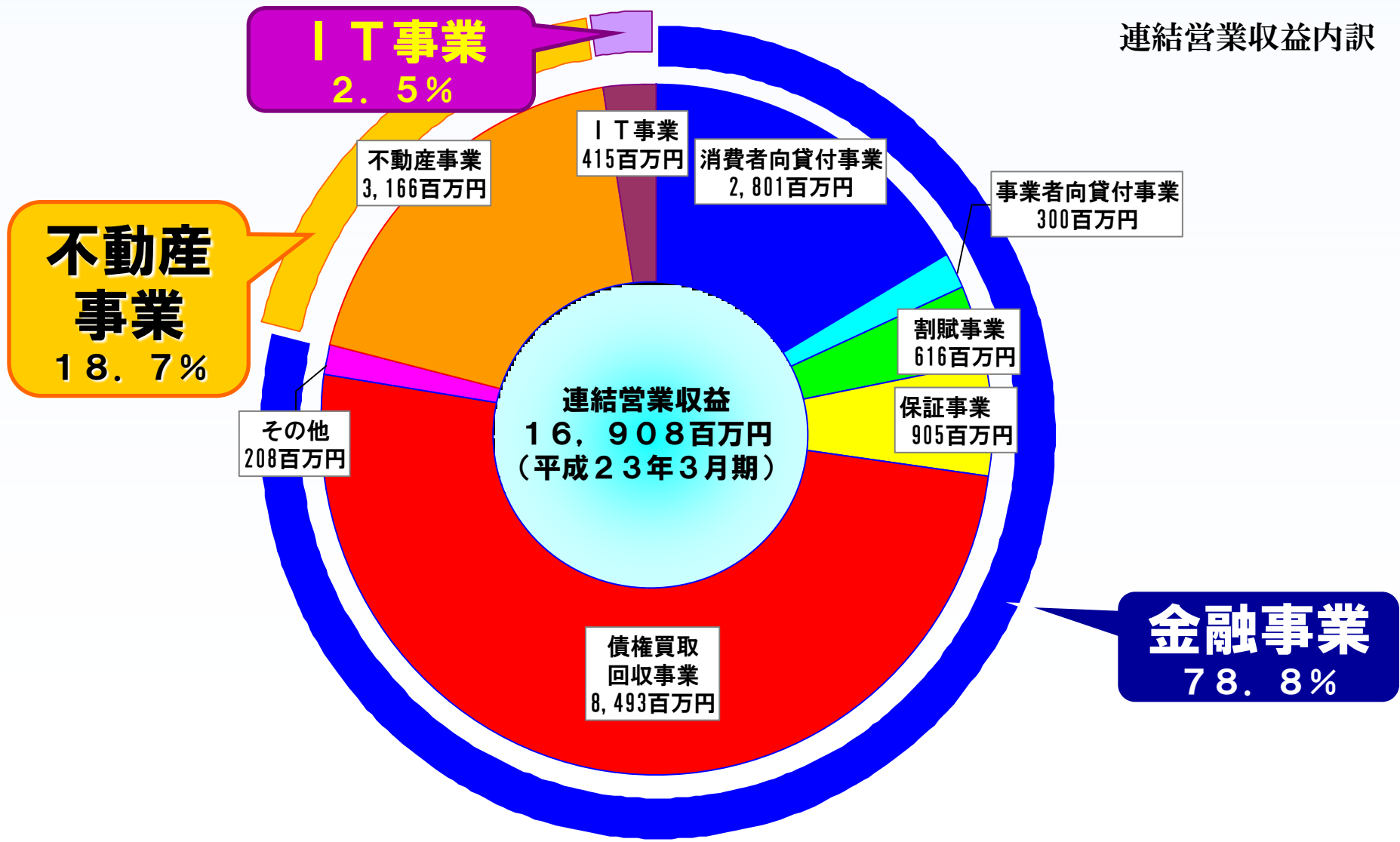


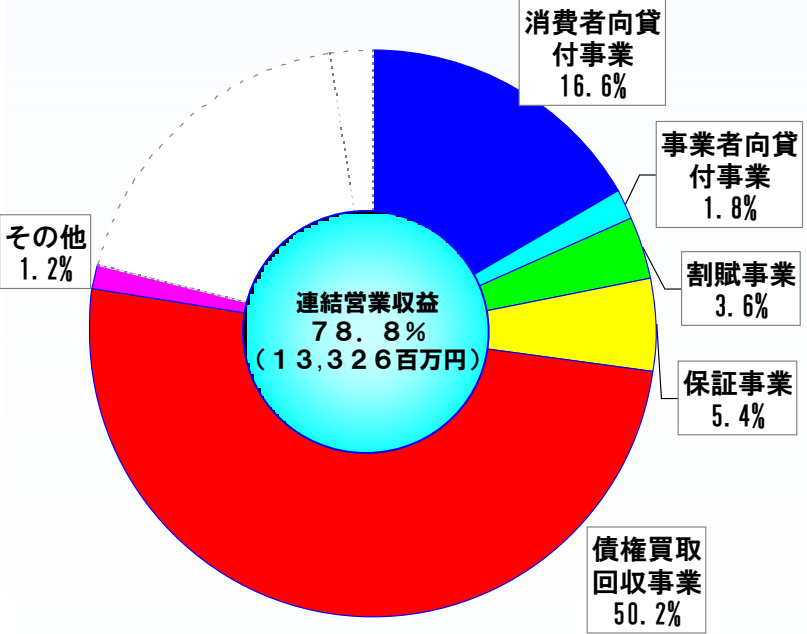
- 借入金を上回る豊富な現預金148億円 (H23年3月期)
- 必要な時に迅速な投資が可能



Jトラストグループの事業内容

連結営業収益内訳







消費者向貸付事業

- ・無担保貸付業務
- ・有担保貸付業務

事業者向貸付事業

- ・商業手形割引業務
- ・手形貸付業務 等

債権買取回収業務






割賦事業

- ・個別信用購入あっせん業務





信用保証事業

- ・金融機関貸出債権の保証業務

目標とする信用保証残高:1兆円

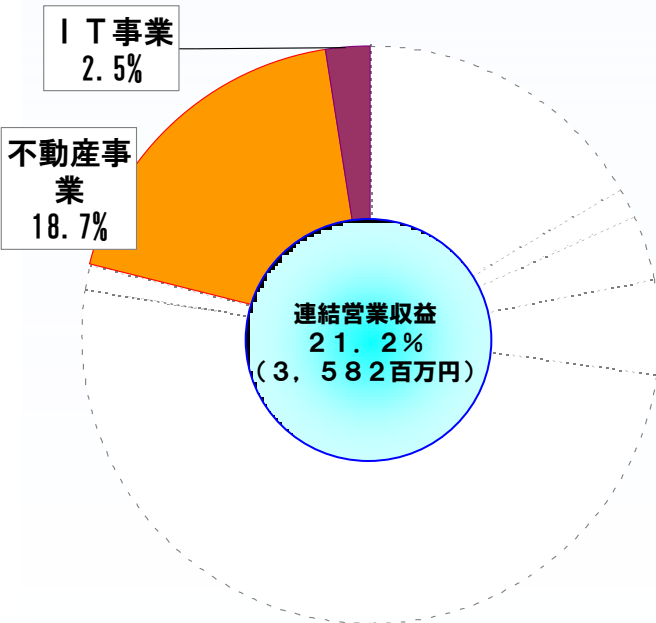




サービサー事業

- ・債権買取回収業務





不動産事業

- ・不動産売買業務
- ・中古住宅再生業務
- ・不動産仲介業務

KEYNOTE



ITソリューション事業

- ・インフラ構築業務
- ・ハードウェア導入業務
- ・システム運用および管理業務

J TRUST SYSTEM
ジェイトラストシステム



今後の成長に向けた取組み

今後の成長に向けた取組み

高成長・高収益企業を目指す

グループ経営基盤の強化と新たな成長への取組み

既存事業の再構築

事業基盤の強化

新規事業の
取組み

今後の成長が見込まれる市場

信用保証市場



クレジット市場



海外市場

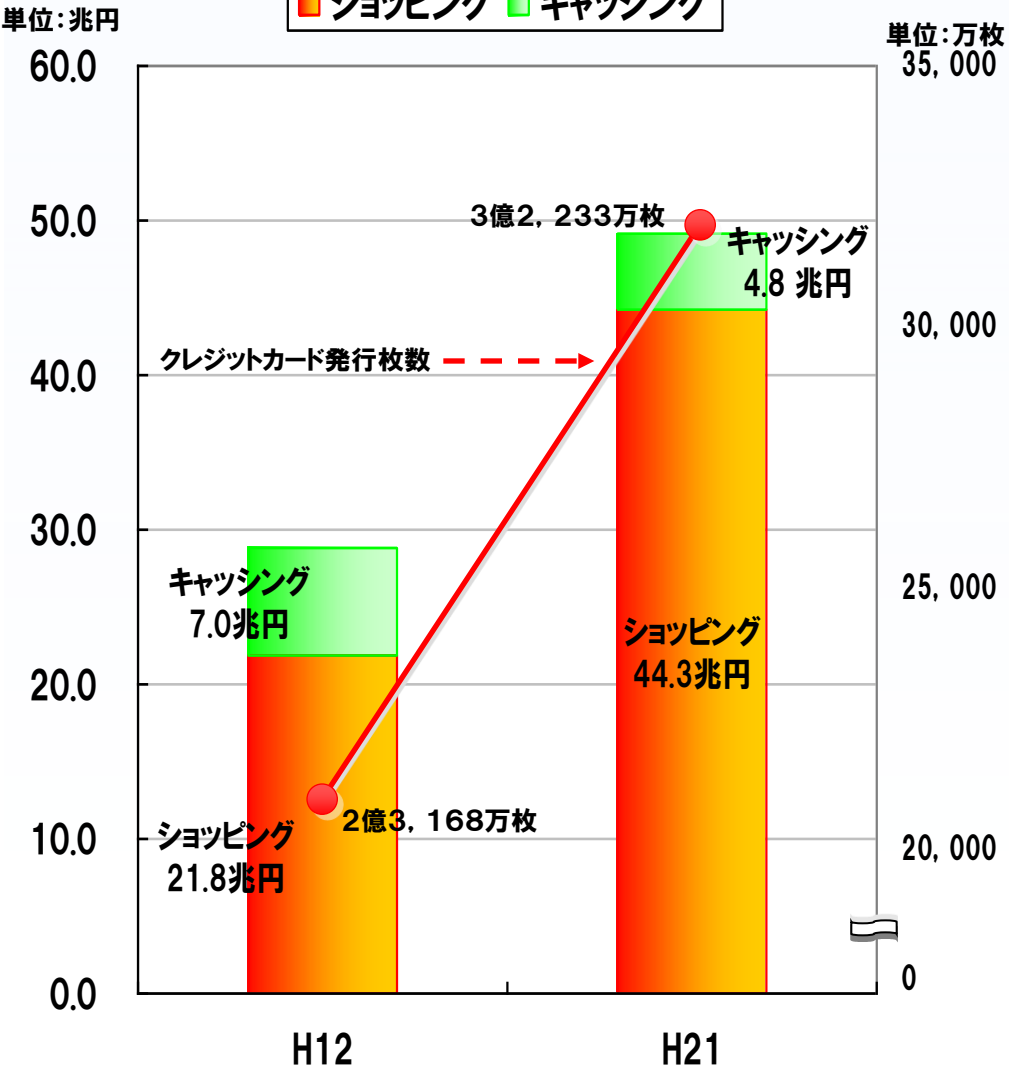


クレジットカード市場について



※参考データ
社)日本クレジット協会

信用供与額とカード発行枚数の推移



単位:兆円

	H12	H21
クレジットカード 信用供与額	28.8	49.1
キャッシング	7.0	4.8
ショッピング	21.8	44.3

単位:万枚

	H12	H21
クレジットカード 発行枚数	23,168	32,233

↓

- ・クレジットカードは、1人あたり3.1枚へ
- ・信用供与額は2倍へ成長

クレジットカード市場について

クレジットによるキャッシングが減少する中、
ショッピングは堅調に拡大



総合金融会社としてクレジット事業への参入を企図



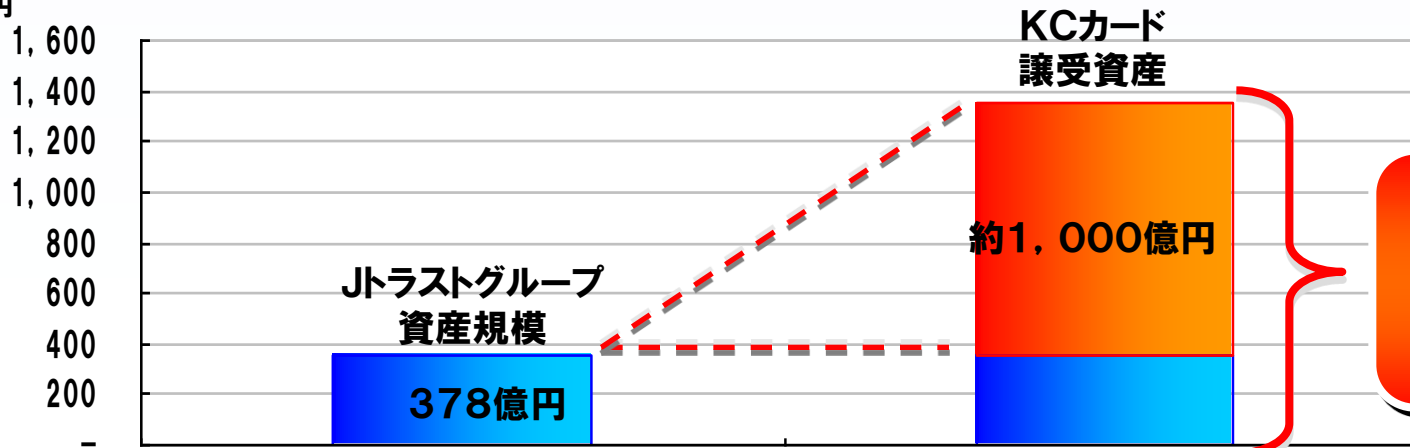
楽天KC株式会社のグループイン(平成23年8月予定)



H23. 8. 1
Jトラストグループイン予定

約1,378億円
の資産規模に
拡大

単位:億円

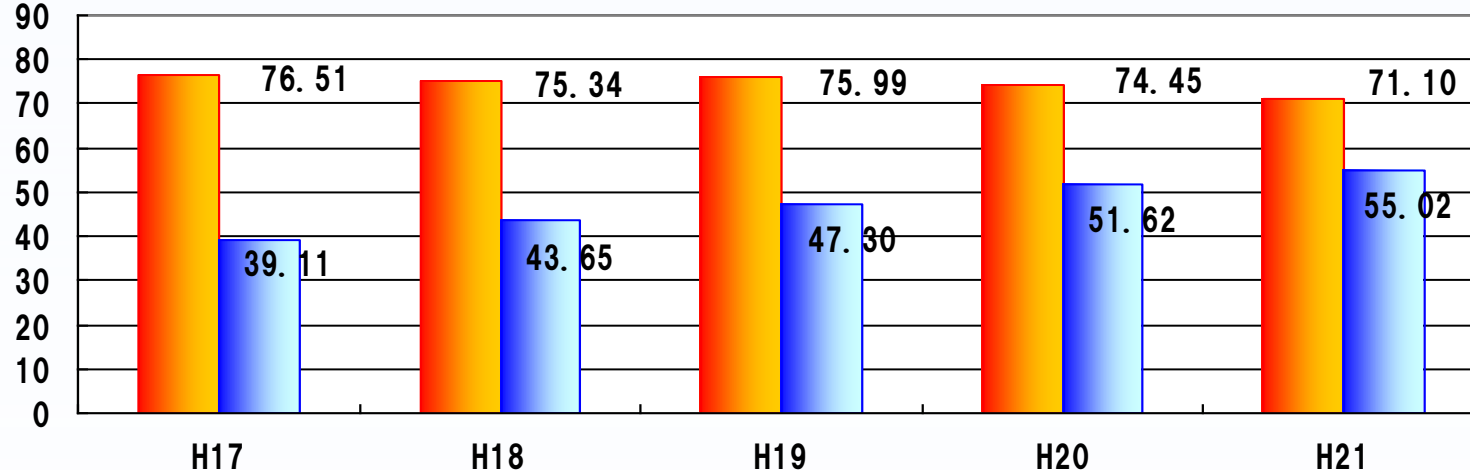


海外市場について



日本および韓国における消費者信用供与額の比較

単位:兆円



※参考データ
日本:(社)日本クレジット協会
韓国:韓国銀行



平成23年4月 韓国消費者金融会社「ネオラインクレジット貸付(株)」を子会社化

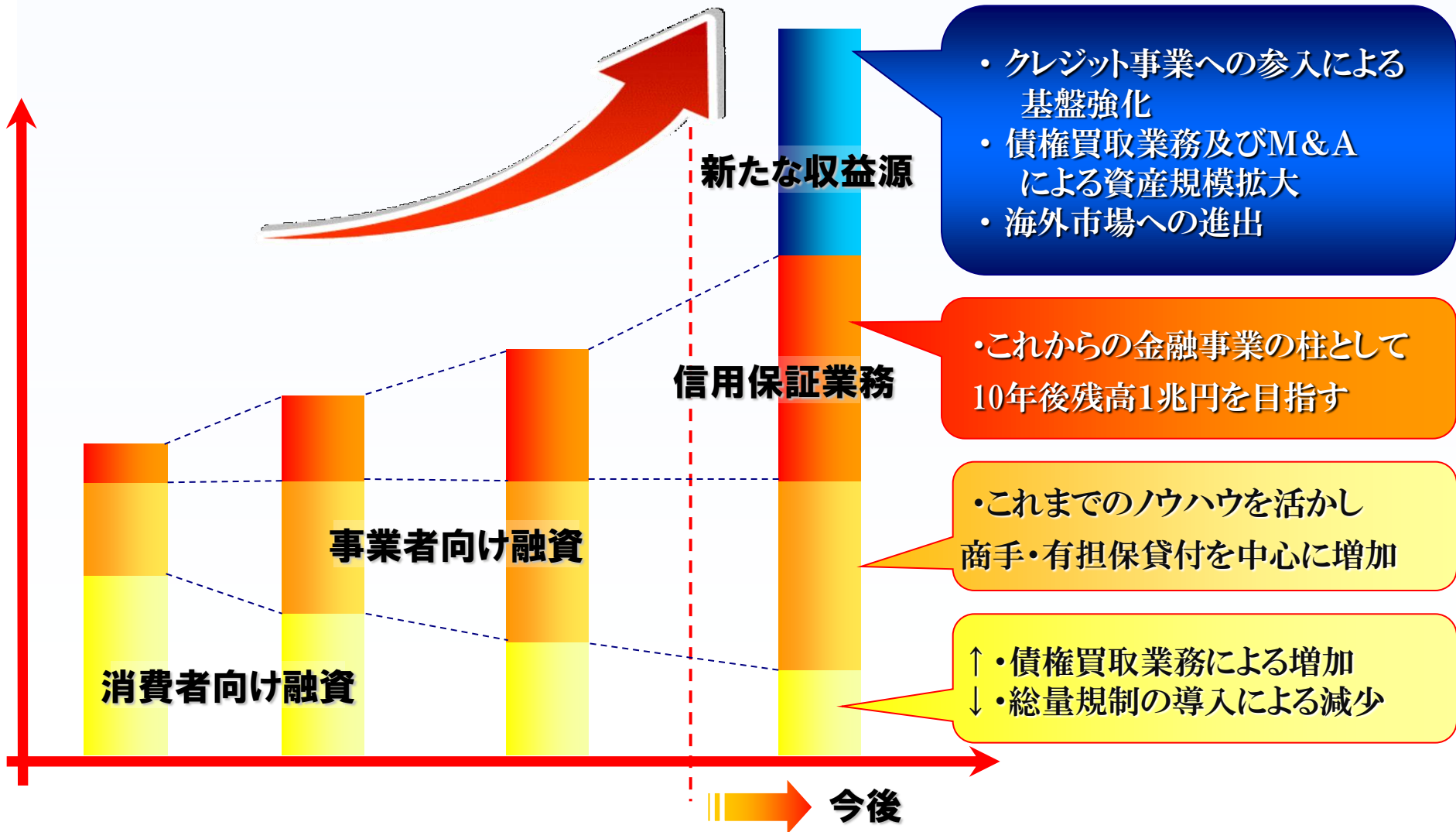
事業メリット

- 上限金利39%での運用が可能(平成23年7月現在)
- 韓国において過払いは存在しない
- 実効税率が日本より低い(日本:約40% 韓国:約24%)



※ ネオラインクレジット貸付(韓国)概観と店内

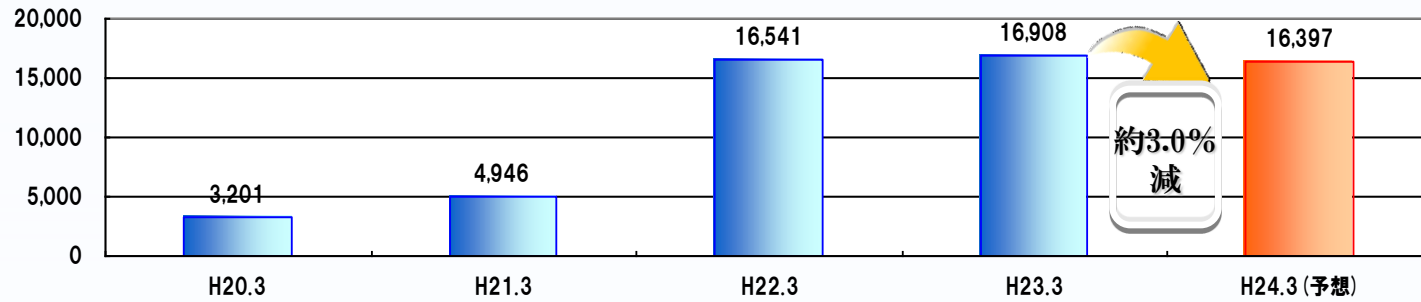
今後の金融事業構造



今期の業績予想

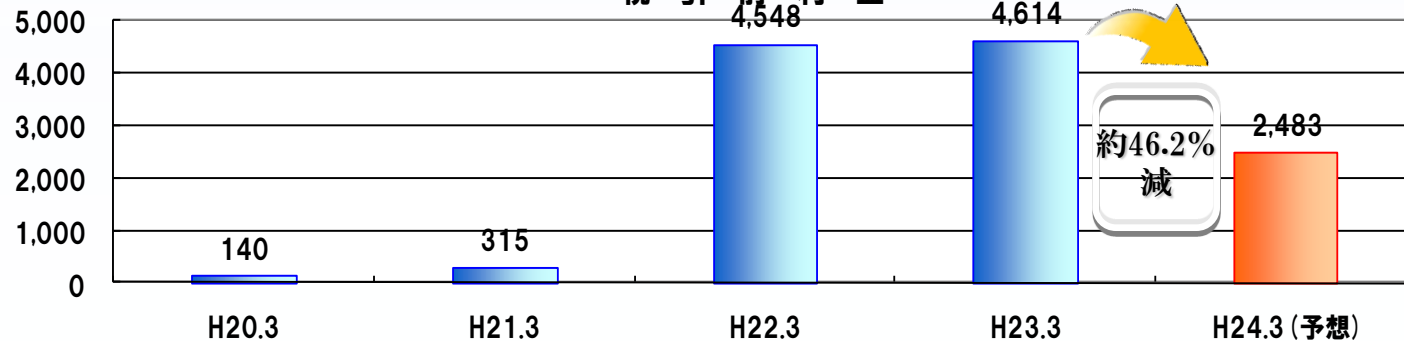
平成24年3月期連結業績予想

営業収益



順調な回収による債権残高の減少

税引前利益

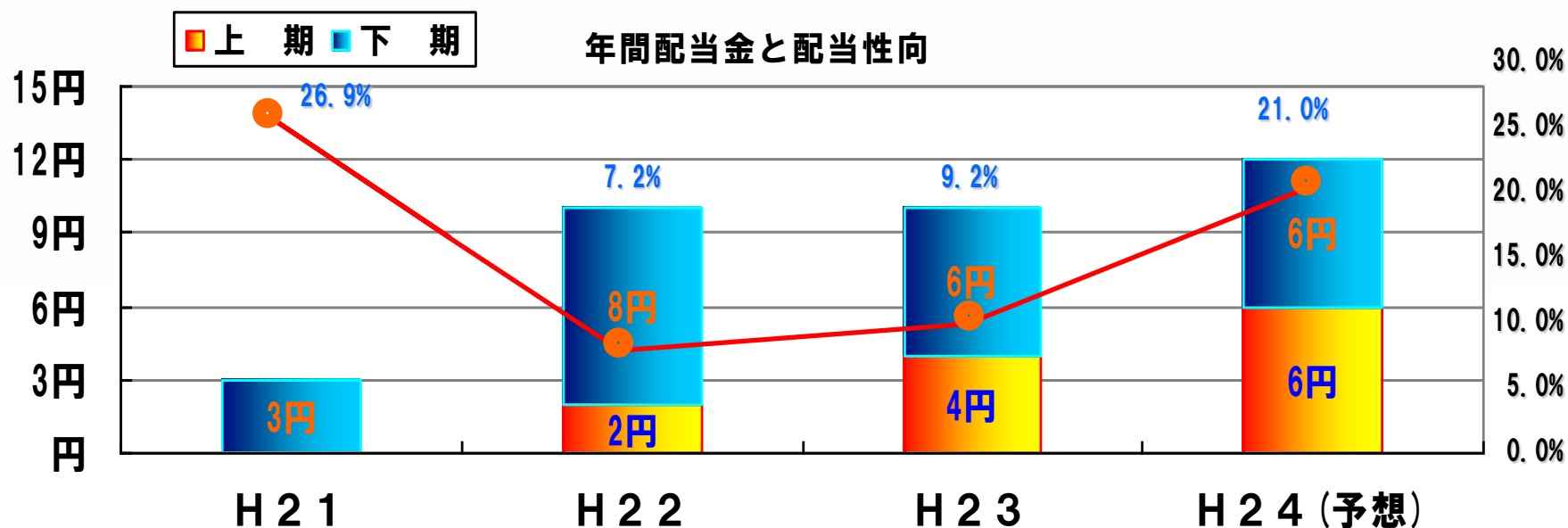


成長にともなう人件費、経費、および貸倒引当金の増加

KCカード株式会社は連結業績予想に不算入

株主様への還元

- 安定配当を重視し、将来の経営環境と必要な投資を見定めた上で、継続的に利益還元
- 今期配当性向21.0%を予定



■お断り

- ・本資料に記載された意見や予想などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報や正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。
- ・また、説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- ・投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われますよう、お願いいたします。



※ 京セラドーム看板（レフトフェンス）

告知

・メール配信サービスについて

当社のリリース情報がメールで受け取れます

詳しくはHP (<http://www.jt-corp.co.jp/about/mailmember.html>) をご参照下さい

・日経IRフェアに出展します

8月26日(金)27(土)東京ビッグサイトにてIRフェアを開催

詳しくはHPまたは (<http://ir.adnet.jp/>) をご参照下さい



当社HP内
メール配信
サービス画面



東京ビッグサイト
IRフェア風景



ご参考：当社株価の推移



日足チャート 3ヶ月



日足チャート 1年